

藤友

高藤建設株式会社



2006
秋号
NO. 360



代表取締役

高藤 昌和

「腑に落ちない」

府に落ちるとか、どうも府に落ちない(納得がいかない)という時に使われます。頭で分かっているけど心に刻印出来ない状態です。頭で分かっているけど、理解しているけど現実には、心で受け止めていなく、失敗することがたくさんあります。例えば我が国の人口が減少する社会が来るということは、頭で分かっているけど、それが納得がいかず、どんな社会が来るのかわかりません。無意識の中に過去の人口が増加する社会に育っているので納得できないのです。建設業界も戦後の焼野原から出発したので、住宅、工場、ビル、道路、港湾、ダム、等々、あらゆるものが新築され、業界は恵まれた環境にありました。戦後は一貫して、建設投資はGDPに対して比率は20%を超える高い水準でした。しかし、今年は10%前後であり、間もなく10%を割ることは明確です。建築工事は新築工事が当たり前とと思っていましたが、今はリフォーム、リフレッシュが建築工事に占める割合は20%を超える状態です。頭で分かっているけど理解したつもりでも、心で受けとめ認識出来なければ、この事態には対応できません。我々の心の隅に過去の成功体験が残っていて、なんとかなるだろうとか、なんとかしてくれるとか、他に頼ったりという甘い気持ちになっているのではないかと反省させられます。政治家も経営者も教育者も我々国民すべてが真剣に考え、心で受け止め、行動せねばならぬ問題が山積されています。政治、経済、教育、医療等々試練ですが、腹をくくって、腑に落として、命がけで立ち向かわなければなりません。頭で理解し、分かったつもりではなくて、五臓六腑の腑に落とし、心に刻印し、チャレンジすることが大切です。



本年度の全国労働衛生週間は、快適な職場環境の形成と労働者の健康の確保・増進等について日常の労働衛生管理活動の総点検を行うとともに、作業所の実態に即した週間行事実施計画を作成し、積極的に全員参加で活動を実施いたしました。

特に、本年4月施行の「改正労働安全衛生法」では、労働災害防止の一層の推進を図るため、過重労働・メンタルヘルス対策、危険性・有害性等の調査(リスクアセスメント)とその結果に基づく必要な措置の実施が努力義務として規定されたところであるので、この対策の積極的な推進を図るとともに、普及・定着をさらに図るよう努めました。

9月1日から30日までを準備期間、10月1日から7日までを本週間として「疲れていませんか 心とからだ みんなでつくろう 健康職場」をスローガンとして第57回全国一斉に展開されました。

当社では各事業場で実施する衛生大会を中心に衛生作品の募集及び健康診断等の行事を実施、また4日には飲酒運転撲滅キャンペーンを門司警察署 岩崎交通係長より公演して頂き社員・協力会共々飲酒3無運動を誓いました。

- 10月 1日(日) 家庭衛生の日 (健康づくりの日)**
家庭、寮で寝具等の日光消毒、積極的に健康づくりへのアクションを起こしましょう
- 2日(月) 衛生意識高揚・健康管理の日**
健康診断受診(協力会社2社、本社社員) 献血実施
- 3日(火) 職場環境改善の日**
社内パトロール(新門司倉庫・社宅・通勤途上の路上清掃)
職場内の衛生関係設備を点検整備する
- 4日(水) 休養・こころとからだの健康づくりの日**
スポーツの秋、運動でリフレッシュ、バランスのとれた食生活を実行、こころの健康、上手なストレスのコントロールに努めましょう
- 5日(木) 衛生教育の日**
各現場で衛生大会開催、準備期間中に募集した衛生作品の表彰を行い記念品を授与しました
- 6日(金) 6S 運動推進の日**
全員で職場の整理・整頓・清潔・清掃・スマイル・親切運動を推進
- 7日(土) 衛生週間反省の日**
労働衛生週間をとおしての反省、今後の取組み方について討議、検討



献血

全国労働衛生週間中の10月2日、本社で定期健康診断と併せて北九州赤十字血液センターからの採血車で献血を行いました。社員及び安全衛生協力会会員18名のご協力をいただき、ありがとうございました。

(管理部 大和)

全国労働衛生週間作品結果は下記の通りです

標語の部

- | | | | | | |
|----|-----|--------|-------|-----|-------|
| 1位 | 健康な | 心と体で | いい笑顔 | 建設部 | 和田 宣明 |
| 2位 | 挨拶は | 元気はつらつ | さわやかに | 管理部 | 大和 朱実 |
| 3位 | 快適な | 職場づくりは | 私から | 管理部 | 萬田 恵一 |

ポスターの部

金賞



社員家族 久田真知子

銀賞



建設部 久田貴文

銅賞



社員家族 和田美由紀

入選



建設部 和田 宣明

バッジの部

金賞



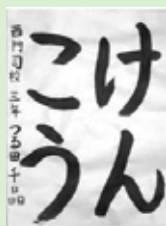
管理部 萬田 恵一

入選

- | | |
|-------|-------|
| 建設部 | 久田 貴文 |
| ADD室 | 豊島 和司 |
| ADD室 | 加藤 葉子 |
| 品質管理室 | 二階堂 茂 |
| 営業部 | 大江 邦彦 |
| ADD室 | 上原 和彦 |

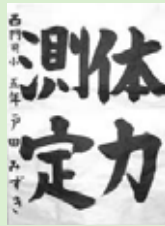
習字の部

小学校低学年の部



天賞 鶴田千晶

小学校高学年の部



天賞 戸田みずき

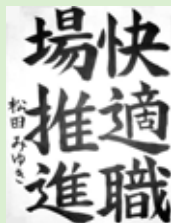


地賞 鶴田 峻真

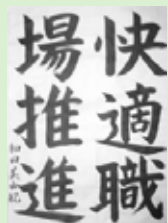


人賞 江木 翔子

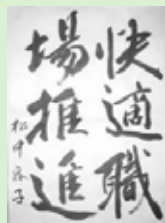
一般の部



天賞 松田みゆき

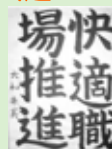


地賞 和田美由紀

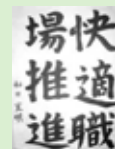


人賞 松中容子

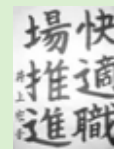
入選



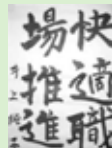
大和朱実



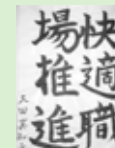
和田宣明



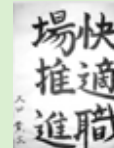
井上宏子



井上純子



久田真知子



久田貴文

● 飲酒運転撲滅運動

10月4日に当社の1階フロアで、門司警察署交通課岩崎係長を講師にお招きし、飲酒運転撲滅大会を開催しました。

既にマスコミで報道されておりますように、8月に福岡で飲酒運転による悲惨な交通事故が発生しましたが、その後も全国各地で飲酒運転による検挙が後をたちません。

飲酒運転は個人的な問題を超え、危険運転致死傷罪が適用されるほど、反社会的行為です。

そこで当社は、「飲酒運転撲滅運動」を、安全衛生協力会と共催で社員と協力会員関係者に推進し、安全で安心なまちづくりに貢献してゆきたいと考え、本大会を開催しました。

当日は、門司警察署の岩崎係長から飲酒運転による危険性を、具体的な事象例を交えて講話いただき、またビデオをとおして、事故の悲惨さも再認識させられました。最後に当社の社員代表と協力会会員代表による「飲酒運転撲滅宣言」を行い、全員で飲酒運転撲滅推進を誓いました。
(管理部 萬田)



● 早朝清掃

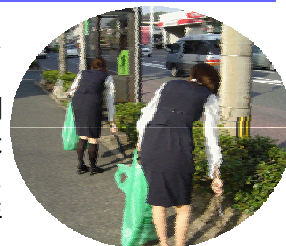
9月15日、社員約20名とボランティア、門司区役所のみなさんのご協力により、当社周辺及び国道3号線方面を主に早朝清掃を行いました。

当社では、毎月15日に約15年近く清掃活動を実施しており、この日は、「門司を美しくする会」の当番団体としての活動でした。これは、愛されるまちになるために「おもてなしのこころ」を核としたソフト面の充実を図ろうと平成17年1月1日に発足したものです。

以前に比べゴミの量は少なくなってきたものの、国道3号線沿いやバス亭周辺にはまだ多くの空き缶や煙草の吸殻などが捨てられており、約20袋ものゴミが集まりました。

これからも、定期的に清掃活動を継続することでわたしたちのまちを美しく保ち、地域に貢献できるように努力していきたいと思っております。

(営業部 大江)



● 壁画制作

8月19.20日の2日間、門司駅北側地下通路の壁画描きに参加しました。

これは、道路ガード下の落書きを防止する為、近隣の小中高生が夏休みを利用して製作していたものです。

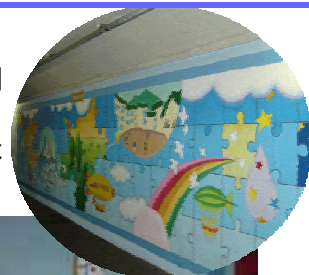
これには、地元のボランティア、企業を含め、約30名が参加しての作業となりました。

壁画は、子供たちが描いた原画をもとに、壁一杯に北九州の名物や海の生き物などが色鮮やかに描かれていきました。

私達も、マジックと水性ペンキを使い、壁画を描くことにチャレンジしましたが、壁には凹凸があり、作業がはかどらない中、絵を完成させました。

トンネルの中はかなり暑かったのですが、壁一面には素敵な壁画が仕上がっていました。

(管理部 大和)



ホームプラザナフコ八幡東店



発注者 株式会社 ナフコ 様
 設計監理 株式会社 太陽設計 様
 工事名 ホームプラザナフコ東田店新築工事
 工期 平成18年3月12日～平成18年7月20日
 規模 鉄骨造2階建 建築面積 11113.37 m²
 延床面積 18808.99 m²

工事場所 北九州市
 現場員構成 建設部建築G 現場代理人 江木
 主任 田中、松瀬、久田
 係員 長野、國本
 設備担当 課長 橋本

ナフコ様の西日本最大級の店舗がオープンしました。店内も広々としてゆとりある空間の中でショッピングを楽しむことができます。



建設部 江木

コゲツ産業本社増築



発注者 コゲツ産業株式会社 様
 設計監理 中西設計一級建築士事務所 様
 工事名 (仮称)コゲツ産業(株)本社増築工事
 工期 平成18年4月20日～平成18年8月12日
 規模 鉄骨造2階建 建築面積 173.27 m²
 延床面積 336.94 m²

工事場所 北九州市
 現場員構成 建設部建築G 現場代理人 濱島

この工事は城野センターとの統合により手狭になった事務所を拡大したものです。



建設部 濱島

日本電子工業(株)DLC工場



発注者 日本電子工業株式会社 様
 設計監理 広瀬敏郎建築研究室 様
 工事名 日本電子工業(株)DLC工場新築工事
 工期 平成18年6月20日～平成18年9月30日
 規模 鉄骨造平屋建 建築面積 753.95 m²
 延床面積 753.95 m²

工事場所 愛知県豊明市

地元の協力会社等のご協力によりお陰さまで無事故無災害で竣工できました。



大阪支店 副島

当社のCS事業部は (Customer Service) お客様に満足を提供しています。

サービスサポート工事

電球の取替えから水漏れ、建物に関することは全てお任せ下さい。
どんな小さな工事や面倒な修理でも引き受けます。なにかお困りの点がございましたら、お気軽にご相談下さい。



奈須那部長

外壁改修・内部改装



屋上防水・外壁改修



エレベーター増築・内部改造



厨房をリフォーム



TAKAFUJI APARTMENT

テナント募集中

2007年4月末日完成予定

1～3階 店舗

4～12階 賃貸マンション



お問い合わせ・お申し込みは

TEL:093-381-0461

高藤建設株式会社



編集後記

表紙の写真は、門司区畑の彼岸花です。真紅の花弁と天日干しされた黄金色の稲穂は、静かな日本の秋にふさわしい風情です。最近稲刈りの後、機械で乾燥することが多くなっていますが、やはり写真のような天日干しした米は味が良いとのことでした。普段私たちが、文明の利器と呼ばれるとても便利なあらゆる電気機器を使い、都会で生活していると季節を感じる事が鈍感になってしまってる様な気がします。幸い北九州は、ほんの少し気を付けるだけで、身近に秋を感じさせる光景を目にすることが出来ます。ちょっと立ち止まって季節を味わってみませんか。

発行

高藤建設株式会社

高藤 昌和

北九州市門司区東新町1丁目1番30号

TEL(093)381-0461 FAX(093)381-0543

Http://www.takafuji.co.jp